

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課長 堀江 隆典 電話番号 0852-22-5722

事務事業の名称	生涯スポーツ推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	各地域で、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じたスポーツ活動を実践する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの活動促進や生涯スポーツの推進を担う人材を育成するために、しまね広域スポーツセンターを通して、市町村や県民への普及啓発活動や指導者養成などを行う。 スポーツ指導者の資質の向上と指導者養成のために、地域のスポーツ・レクリエーション指導者及び指導者を対象に講習会や研修会を開催する。 広く県民にスポーツ情報を提供するために、スポーツ情報を収集し、県や広域スポーツセンターのホームページにより発信する。 体育・スポーツの発展を図るために、その進捗に顕著な成果をあげた指導者及び団体をスポーツ功労者として表彰する。 	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	スポーツに取り組んでいる人の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			36.00	37.00	38.50	
式・定義	スポーツに取り組んでいる人の割合（島根県政世論調査）	実績値	35.00	36.70	36.00	35.10		%
		達成率		101.90	97.30	91.20		%
指標名	総合型地域スポーツクラブ数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		34.00	36.00	38.00	40.00	
式・定義	設立された総合型地域スポーツクラブ数（しまね広域スポーツセンター調べ）	実績値	32.00	34.00	34.00	34.00		クラブ数
		達成率		100.00	94.40	89.50		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	17,834	17,631
うち一般財源(千円)	17,834	17,631

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- スポーツ実施率については微減傾向であるが、今後取り組んでみたいという人の割合は42.5%ある。
- 総合型地域スポーツクラブについては、設立・育成の助言や支援を行っているが、自主財源を確保できないクラブの運営方法や新たに総合型地域スポーツクラブを創設する必要性を感じない町村もあることから、新たな設立が困難となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 運動遊びを中心とした多様な運動の必要性についての指導者養成研修会にスポーツ推進委員や地域で活動されている指導者など多数の参加があった。この研修で学んだことを普段の活動に生かすことで、生涯スポーツの基盤づくりにつながる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ホームページでの発信やスポーツレクリエーションの機会の向上は行っているが、スポーツ実施率の向上につながらない。
 - 新たに総合型地域スポーツクラブを設立する動きがない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- スポーツ実施率については、魅力的なプログラムを提供するだけで向上するものではなく、余暇時間、経済状況、家庭環境、体育施設の状況等、様々な要因が考えられる。
 - 総合型地域スポーツクラブについては、財源的なメリットがない中で、創設する必要性を行政・住民ともに感じていない。
- ③原因を解消するための「課題」
- スポーツに今後は取り組んでみたいと考えている人は、家族形成期の層に多く見られることから、家族形成期を対象とした取組や運動の習慣化につなげるための取組が必要である。
 - 設立済みの総合型地域スポーツクラブの安定した運営や地域スポーツの核として質を高めた活動を支援することで、総合型地域スポーツクラブの魅力を発信する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 親子で一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ機会や親子で行う運動プログラムを提供する。
- 幼少期から運動のきっかけをつくり、運動の楽しさを実感することで、運動の習慣化につなげていく取組を推進する。
- 総合型地域スポーツクラブについては、地域のスポーツ活動における現状分析やニーズ把握などにより、地域住民が気軽にスポーツ活動を親しむ場となるよう、助言等の支援を行うとともに、地域住民がスポーツ活動への参加意識を高めることにつながる事業や広報活動を推進する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）